

事業所名

放課後等デイサービス もくもくハウス

支援プログラム

作成日

6 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		安全第一！楽しく過ごそう♪			
支援方針		安全に留意し、楽しみながら学べる環境を目指しています。学校教育と家庭教育の課題を踏まえ、遊びを通じて療育的な関りをしていきます。一人ひとりの個性を大切に育てていけるようサポートしていきます。			
営業時間		平日	11:00~17:30	送迎実施の有無	あり
		学校休業日	9:00~17:00		
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	定期的な心身の把握（検温、手洗い、気分把握）、食事（咀嚼、嚥下、姿勢保持など）の支援、排泄の支援、部屋のレイアウトや座席を掲示、調理を通じての食育、お手伝いの機会の提供、身の回りの整理・片付け・持ち物の管理をする力の獲得の支援、おやつ提供や調理活動によってこだわりや偏食に対する支援、生活の見通しを持てるようにスケジュール使用、定期的な避難訓練（水害・火災・地震）への参加			
	運動・感覚	個別の活動の中で椅子や机を用いた支援において正しい姿勢の習得、音楽に合わせて体を動かす遊び（ミュージックケア参加等）、感覚過敏用のイヤマフなどの環境設定、公園の遊具を使った運動、散歩、運動能力向上の支援（縄跳び・トランポリン・ハンモックブランコ・ボール遊び等）、自立課題の提供、指先を動かす課題・工作の提供			
	認知・行動	スケジュールの提示、タイマーを用いて活動の切り替えを支援、小集団でのゲームでの適切な行動形成、季節の変化への興味など感性形成のため工作・外出、数量・大小・色の習得につながる自立課題の提供、時間・時計を意識する支援			
	言語 コミュニケーション	あいさつ、個別での学習支援、絵カード・PECSの使用、要求・選択など自分の思いを周りの人に伝える方法を考えて意思決定支援、文字カードやカルタなどの教材を用いて読みの向上			
	人間関係 社会性	ルールの理解が必要な遊びや集団行動（カードゲーム・鬼ごっこ・かくれんぼなど）、順番交代・役割をはたす等社会に適応するために必要なスキルの支援、ルールやマナーに関する知識の伝達、気持ちのコントロールのための支援、イベントを通じた地域との交流、公共交通機関を利用したお出かけ			
家族支援		個別支援の場面の観察をし、個人懇談、連絡帳、送迎時にお伝えし、共有の機会を設けます。年に数回、保護者会の開催をして保護者交流、きょうだい児の交流の場を設けます。	移行支援	学年や学部の移行時や卒業後の移行において、相談の機会や情報提供をします。	
地域支援・地域連携		学校や相談事業所、併用事業所との情報共有や連携をして発達支援に取り組みます。地域の公園や施設など行く機会をつくり、交流の機会を設けます。	職員の質の向上	きょうと福祉人材認証制度（認証事業所）の支援メニューを活用した各種研修の受講、虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、PECS研修、感染症対策研修	
主な行事等		書初め、お正月遊び、春夏秋冬の工作、お花見、七夕、夏の水遊び、冬の雪遊び、お出かけ、卒業生送る会、ミュージックケア、調理活動、保護者会、避難訓練、防災食体験			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス もくもくハウス		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合わせた個別の取り組み、療育を行っている。	お子さまの成長に合わせて支援内容を工夫し、居心地の良い所となるよう環境調整をしている。ご本人の意思を尊重するとともに、保護者の要望もふまえた支援内容の提供に努めている。	職員でアイデアを出し合ったり、個々で学びながらより良い支援となるようにしていく。卒業後を見据えたアプローチをしていく。
2	作品作りを通して手先を動かす作業、達成感を感じる活動を行っている。	季節の工作を通して四季を感じる機会を設定している。手先を使うことでの成長、自己肯定感を高めるよう支援をしている。	一人一人の成長に合わせて作業のバリエーションを増やしていく。年1回、作品展に出席して地域とのつながりを増やしていく。
3	職員間で連携して支援の向上を目指している。	週1回の全体ミーティングや日頃から職員同士のコミュニケーションを積極的に行っている。	制度上必要な研修は受講しているが、支援力向上のための研修他を取り入れる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ない。	事業所内でイベントが完結してしまう。	公園、図書館等へ行く機会を増やす。高校生アルバイトさんに引き続き来てもらうことで同年代と交流の機会を持つ。作品展に引き続き出展する。
2	保護者に対するペアレントトレーニング等が充分でない。	連絡帳、LINEでの連携、送迎時に連携、保護者会、交流会は行っているが、参加できない方との連携が少ない。	保護者から相談しやすい体制を整えていく。
3	各種マニュアルの全体周知ができていない。	各マニュアルは制定しているが、周知方法が限られている。	ホームページの改良が必要である。

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。1室2人で利用できるようにしています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置以上のスタッフを配置しています。加配で職員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じてスロープを利用できます。トイレの扉の付け替え、トイレ内に手すりを設置しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、室内の整理整頓に努めています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		様子を見ながら安心して過ごせるスペースを提供します。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で支援目標についてのミーティングを行っています。常に全体で取り組んでいます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを年1回実施しています。いただいたご意見をもとに業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間のコミュニケーションをとるとともに、業務改善のアンケートをとり改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		2022年12月に受診をしました。ご指摘をいただいた点の改善に取り組んでいます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修会の周知及び参加の呼びかけをしています。オンライン研修を活用しています。研修参加後は全体ミーティングで報告を行い、フィードバックをしています。
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています。	
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		サービス等利用計画を踏まえ、日々子どもたちの様子を記録し分析した上で、半年ごとに個別支援計画を作成しています。	
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援会議に職員も参加し、個々に検討しています。	
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全体で共有し、計画に沿った支援を行っています。	
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			○	標準化されたツールは用いていませんが、保護者を通じて学校や療育施設より情報を得ています。

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目を設定し、保護者や児童の意向を取り入れた支援内容を設定しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全体でミーティングを実施し、一人ひとりの特性に応じて検討しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ミーティングでアイデアを出し合い、様々な体験が積めるようにしています。季節の工作に取り組んでいます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		学習は個別に支援をしています。状況に合わせて集団活動をしています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にその日の担当者、配車を確認するとともに支援の内容を検討しています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎で退勤時間にばらつきがあるため全員での振り返りは難しいですが、気づいた点は記録し、翌日に情報共有しています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援は毎回記録をし、記録を拾い出し支援会議を行って支援の改善につなげています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとにモニタリングを行い計画の見直しを行っています。事例によっては随時見直しを行い対応しています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自立支援と日常生活の充実のための活動、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動を組み合わせ支援をしています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で選択できる機会を設け、自己決定できるよう支援をしています。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参画しています。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		移行の際に療育機関や保育園等と連携をしています。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		支援学校より行事予定表をいただいたり、支援学校のアプリ（スクリレ）に登録をして情報を共有しています。支援会議や送迎時に情報共有をしています。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて保育所、幼稚園と情報共有をしています。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供の体制を整えています。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターよりアドバイスを受けています。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今後行っていきたい。

関係機関や保護者との連携

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		放課後等デイサービス連絡会に参加をしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳で日々の様子や活動内容を伝えていきます。必要に応じて送迎時やLINE、電話で連携をとっています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて対応方法の助言をしています。希望に応じて保護者面談を行っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約書、重要事項説明書に記載するとともに、契約時に説明をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方には面談やモニタリングにてご意向を確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		5領域に沿った支援を実施する計画を立て、説明同意をもらっています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や連絡帳、送迎時等で相談に対応できるように努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		事業所内の父母会はありませんが、今年度保護者会、ご家族を含めた交流会を開催しました。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情を受けた際は運営規定にのっとり対応します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用予定表に行事を記入するとともに、行事の場合は案内LINEを作成しています。年2回活動の様子をまとめて広報を発行しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ご家庭の意向を確認した上で適切に対応します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様の状況に応じて絵カード、スケジュール、文字盤等視覚支援を取り入れる対応をしています。連絡帳を見やすく記入をします。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○		事業所では取組めていませんが、法人の中では取組んでいます。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。安全計画(防犯含む)を策定しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)を策定しています。消防士さんに来ていただき火災時の消火訓練を行っています。事業所独自で水害時・地震時の避難訓練、防災センターの見学をしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者に情報をいただき職員全員で共有をしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者への聞き取りでアレルギーの有無を確認しています。注意書を貼り職員に周知徹底をしています。エビ研修を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、年間の行事の中で研修、訓練を行っています。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	避難訓練の様子は連絡帳や広報でお知らせをしていますが、安全計画の周知が不十分です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハット事例が起こった際には報告書を記入し、ミーティングで職員全員に周知徹底をしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	月1回、法人全体で虐待防止身体拘束適正化委員会を開催しています。虐待防止研修を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	対象の方には事前に十分に説明をし、同意書いただいています。年二回カンファレンスを行っています。

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3		1	・我が子がよく動くので他のお子様のスペースが確保されているのか分かりません。・とても工夫されていると思う。 ・学年の大きい子には手狭に感じる。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1			・職員の人数が少ない関係で預かり日数が減っているように感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2			・運動ができる部屋も、工作道具も豊富で、好きなことができる場が構造化されている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1			・活動されやすいように配慮されてる。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1			・子供の好きな事をごほうびにモチベーションを上げて、経験させて下さっています。・発達や性格に合った支援が受けられています。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25				・小さい頃からお世話になっているので成長と共に、支援プログラムを立てて頂いている。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	25				・いつも細かくノートに記入してもらえてありがたい。・子供の事を十分に理解して頂いている。・将来を見据えた計画を作成してもらっている。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25				・個別性のある支援計画が立案されていて、実践して頂いています。・できることが増えている。・送迎時のスタッフからもタイムリーに様子を伺えるので、とても嬉しい。ノートも読み返せるので楽しいです。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				・季節に応じた行事や長期休みのお出掛け、積極的な野外活動もあり、工夫されている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	3	8	・私自身が参加できていないのでわかりません。
保護者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				・わかりやすい説明です。・その都度丁寧に説明して下さっている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				・丁寧に説明して下さっている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	2			・仕事で参加できていない。・参加できていないのでわからない。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24			1	・他の保護者の方と話す機会を作って頂けてありがたい。ちょっとした子供の変化なども知らせて下さる。・送迎のスタッフさんが気さくなので話を聞くと楽しく過ごしているのがわかる。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1			・できていることとしてみた反応も細かく伝えて下さるので、子供の様子がよくわかる。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				・いつも私自身や子供の感情を受け止めて下さっている。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24			1	・兄弟向けというわけではないが、BBQなどの連れて行きたいと思うイベントがあります。・私はあまり参加できていないが、積極的に交流会が開催されており、参加されている方にとって貴重な交流の場になっていると思います。	
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2			・送迎先の変更など、快く受け付けて下さり助かっています。・機会は今のところないが、相談したら対応して頂けると思っています。・現状に満足している。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	25					・とても配慮されている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25					・お知らせを見るのをいつも楽しみにしている。・定期的にLINEなどで知らせてもらっている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	25					・十分配慮されており、個人情報も守られている。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			3	・訓練なども定期的にも実施されており、内容なども知らせてもらっている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			3	・定期的にも実施されている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	24			1	・詳しくはわからないが送迎の車の安全対策や感染予防の対策はなされていると思う。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	23	1		1	・発生したことがないのでわからない。発生したときは速やかな対応説明がされると思う。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・とても楽しそうに機嫌よく毎回帰ってきます。行く日をいつも楽しみにしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				・とても楽しみにしております。安心していると思えます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・大変満足しています。	

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。